

農産物の残留農薬検査結果(令和6年7月～8月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁*は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和6年7月～8月に医療局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、7月にきゅうり、トマト、なす及びばれいしょ各3検体、とうもろこし及びにんじん各1検体の計14検体、8月になす5検体、ばれいしょ3検体、オクラ2検体、えんさい(空心菜)及びピーマン各1検体の計12検体、合計で26検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。トマト3検体、オクラ、きゅうり及びなす各1検体から延べ8項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものではありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

*令和6年4月1日に、食品衛生基準行政は厚生労働省から消費者庁に移管されました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果 (令和6年7月～8月)

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
えんさい(空心菜)	1	0			
オクラ	2	1	アセタミプリド	0.02	1
きゅうり	3	1	チアメキサム	0.05	0.5
とうもろこし	1	0			
トマト	3	3	{アゾキシストロビン	0.01	3
			{チアメキサム	0.01	2
			{アセタミプリド	0.05	2
			{ボスカリド	0.06	5
			{ジノテフラン	0.03	2
なす	8	1	ジノテフラン	0.06	2
にんじん	1	0			
ばれいしょ	6	0			
ピーマン	1	0			

注) 中括弧({)は同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
BHC(α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○	—	○	—	—	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	—	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	—	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	—	エンドスルファン(α 及び β の和)	0.005	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	○	エンドリン	0.005	○	—	—	—	—
アセフェート	0.01	○	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	○	○	クミルロン	0.01	○	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	—	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	○

表 2(続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○
クロクスロン	0.01	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	—
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	—	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	—	フルジオキソニル	0.01	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	—	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	—
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	—	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エボキシドを含む)	0.005	○	—	○	—	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	ベンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	○
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	—
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○
ピフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	—
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	メラクロール	0.01	○	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○	○
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	—
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	○							

農産物の種類 A:えんさい、オクラ、にんじん、トマト、ピーマン B:なす C:ばれいしょ D:きゅうり E:とうもろこし
○:実施、—:実施せず

*DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】